

ショパンをめぐる音楽 シリーズ③

伊藤裕佳子ピアノ・リサイタル



～ウィーンは通過地～

ショパンは成功を夢みて20歳でウィーンに出たが、
完全な失敗。

8か月間の“無為の時代”から
「一刻も早くパリへ！」の思いに。

1歳下のリストは、少年の頃ウィーンで修業後、
今やパリ社交界の花形に

Yukako Ito Piano Recital

2018 **6/1** (金) 19:00 開演 18:30 開場 **ふきのとうホール**

(札幌市中央区北4西6-3 六花亭札幌本店6階)

2,000円 (全席自由・税込) 大丸プレイガイド: TEL 011-221-3900 道新プレイガイド: TEL 011-241-3871

未就学児童の入場はご遠慮下さい。

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番ハ短調
L.Beethoven 作品13「悲愴」

Piano Sonata No.8 c-moll op.13 "Pathétique"

リスト: 葬送曲 (「詩的で宗教的な調べ」より第7曲)
F.Liszt Funerailles (From "Harmonies poetiques et religieuses" S.173)

リスト=ヴェルディ: リゴレット・パラフレーズ S.434
F.Liszt (Verdi) Paraphrase de concert sur Rigoletto

ショパン: 4つのマズルカ作品6
F.Chopin 4Mazurkas op.6

スケルツォ第1番ロ短調作品20
Scherzo No.1 h-moll op.20

バラード第1番ト短調作品23
Ballade No.1 g-moll op.23

ポロネーズ第6番変イ長調作品53「英雄」
Polonaise No.6 "Héroïque" as-dur op.53

伊藤裕佳子 (いとうゆかこ)

上智大学卒業。北海道大学大学院修士課程修了、MBA取得。
仏二ス国際アカデミーにて研鑽。英オックスフォード・イン
ターナショナル・ピアノ・フェスティバルに参加、ディプロマ
を取得。たびたび渡仏し、ショパン教育で権威あるパリ音楽
院教授A.ヴィブロスキーほかJ-M. コティ、J. テン、C. オル
ティエズ各氏に師事。

道内各地、東京、横浜、京都、英オックスフォード、仏サン・
マロ等で様々な演奏会に出演。札幌では市民芸術祭新人音楽
会出演後は、道庁赤レンガ音楽祭 (N 響団員の室内楽他、毎
夏11年間続き99年で閉幕)、市内各美術館コンサート、JR
ふれあいコンサート等に出演。1993年より、札幌でリサイタル
を継続開催しており、今年で25周年を迎える。一昨年より
ショパンを中心としたシリーズをスタートさせた。

毎日新聞、北海道新聞「朝の食卓」のエッセイ執筆のほか、
著書『アンビシャスな奇想曲～地方区ピアニストのひとり
ごと～』は、道新の他、音楽専門雑誌の書評欄で高い
評価を得た。

後援: 札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社 お問い合わせ: アルマ工房 TEL011-863-2718